

CLIによるスイッチのアイドルセッションタイムアウト設定の設定

目的

[アイドルセッションタイムアウト設定(Idle Session Timeout Settings)]では、管理セッションがタイムアウトする前にアイドル状態を維持できる間隔を指定します。デフォルトでは10分に設定されています。時間値に達したら、再度ログインして、次のセッションの接続を再確立する必要があります。

- HTTPセッション
- HTTPSセッション
- コンソールセッション
- Telnetセッション
- SSHセッション

この記事では、コマンドラインインターフェイス(CLI)を使用して、スイッチのアイドルセッションタイムアウトを設定する方法について説明します。

CLIに慣れていない場合で、グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)を使用して設定する場合は、[ここをクリックしてください](#)。

該当するデバイス

- Sx350シリーズ
- SG350Xシリーズ
- Sx550Xシリーズ

[Software Version]

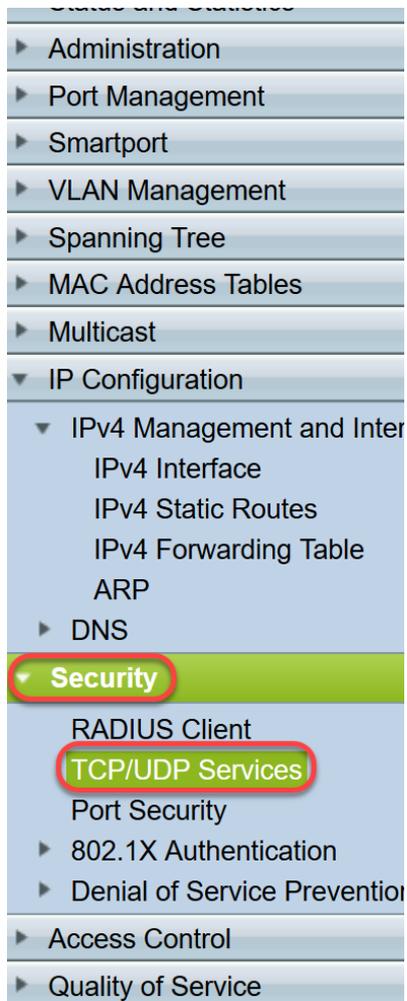
- 2.3.5.63

アイドルセッションタイムアウトの設定

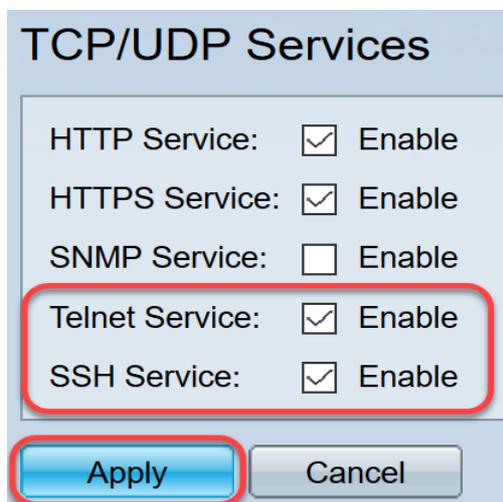
ステップ1: スwitchのCLIにリモートアクセスするには、スイッチでTelnetまたはSSHアクセスを有効にする必要があります。

Web構成ユーティリティページにログインします。

メインメニューから、[Security] > [TDP/UDP Services] を選択します。



該当するボックスをオンにして、[Apply]をクリックし、TelnetサービスまたはSSHサービスを有効にします。



ステップ2：スイッチコンソールにログインします。デフォルトのユーザ名とパスワードは *cisco* です。新しいユーザ名またはパスワードを設定している場合は、代わりにクレデンシャルを入力します。

注：SSHまたはTelnetを使用してSMBスイッチCLIにアクセスする方法については、[ここをクリックしてください](#)。

```
[User Name:cisco  
[Password:*****
```

注：コマンドは、スイッチの正確なモデルによって異なる場合があります。この例では、SG350XスイッチにTelnetでアクセスします。

ステップ3：スイッチの特権EXECモードから、次のように入力してグローバルコンフィギュレーションモードに入ります。

ステップ4:HTTPセッションタイムアウト時間を設定するには、次のように入力します。

次のオプションがあります。

- idle-seconds – データが受信されない場合、または応答データを送信できない場合に、接続を開いたままにしておく最大秒数を指定します。範囲は0 ~ 86400秒です。
- http-only: (オプション) タイムアウトはHTTPに対してのみ指定されます。
- https-only: (オプション) タイムアウトはHTTPSでのみ指定されます。

注：指定したタイムアウト値を超えてブラウザがアイドル状態のままになると、スイッチはセッションを閉じます。デフォルト値は 10 分です。この例では、0が入力されています。これは、自動ログオフが無効であることを意味します。

```
SG350X#configure  
SG350X(config)#ip http timeout-policy 0  
SG350X(config)#
```

ステップ5：特定の回線の自動ログオフの前に、システムがユーザ入力を待機するセッションアイドル時間間隔を設定するには、次のように入力して回線設定モードに入ります。

次のオプションがあります。

- コンソール：端末回線モードに入ります。
- Telnet：リモートアクセス(Telnet)の仮想端末としてデバイスを設定します。
- SSH：デバイスをセキュアリモートアクセス(SSH)の仮想端末として設定します。

注：指定したタイムアウト値を超えて回線セッションがアイドル状態のままになると、スイッチはセッションを閉じます。デフォルト値は 10 分です。

```
SG350X#configure  
SG350X(config)#ip http timeout-policy 0  
SG350X(config)#line console  
SG350X(config-line)#
```

注：この例では、端末回線モードに入ります。

ステップ6：システムが自動ログオフの前にユーザ入力を待機するセッションアイドル時間間隔を設定するには、次のように入力します。

```
SG350X#configure
SG350X(config)#ip http timeout-policy 0
SG350X(config)#line console
SG350X(config-line)#exec-timeout 30
SG350X(config-line)#
```

注：この例では、30分が使用されます。30分間アイドル状態になると、システムは自動的にログオフします。

ステップ7：特権EXECモードに戻るには、exitコマンドを入力します。

```
SG350X#configure
SG350X(config)#ip http timeout-policy 0
SG350X(config)#line console
SG350X(config-line)#exec-timeout 30
SG350X(config-line)#exit
```

ステップ8：ステップ4～6を繰り返して他の行を設定し、endコマンドを入力して特権EXECモードに戻ります。

```
SG350X#configure
SG350X(config)#ip http timeout-policy 0
SG350X(config)#line console
SG350X(config-line)#exec-timeout 30
SG350X(config-line)#exit
SG350X(config)#line telnet
SG350X(config-line)#exec-timeout 10
SG350X(config-line)#exit
SG350X(config)#line ssh
SG350X(config-line)#exec-timeout 0
SG350X(config-line)#end
SG350X#
```

ステップ9：(オプション)スイッチのHTTPまたはHTTPSアイドル設定を表示するには、次のように入力します。

```
[SG350X(config-line)#end
[SG350X#show ip http
HTTP server enabled. Port: 80
Interactive timeout: 0 minutes, 0 seconds.
SG350X#
```

ステップ10: (オプション) スイッチの回線アイドル設定を表示するには、次のように入力します。

次のオプションがあります。

- コンソール : (オプション) コンソール設定を表示します。
- Telnet: (オプション) Telnetの設定を表示します。
- SSH: (オプション) SSH設定を表示します。

```
SG350X#show line
Console configuration:
Interactive timeout: 30 minute(s)
History: 10
Baudrate: autobaud
Databits: 8
Parity: none
Stopbits: 1

Telnet configuration:
Telnet is enabled.
Interactive timeout: 10 minute(s)
History: 10

SSH configuration:
Interactive timeout: Disabled
History: 10
SG350X#
```

ステップ11: (オプション) スイッチの特権EXECモードで、次のように入力して、設定をスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。

```
SG550XG#copy running-config startup-config
Overwrite file [startup-config]... (Y/N)[N] ?
```

ステップ12. (オプション) ファイルの上書き[startup-config]を実行した後に、キーボードでYキーを押して、Noを押します。プロンプトが表示されます。

```
[SG350X#copy running-config startup-config ]  
Overwrite file [startup-config]... (Y/N)[N] ?Y  
22-Sep-2017 04:09:18 %COPY-I-FILECPY: Files Copy - source URL running-config des  
tination URL flash://system/configuration/startup-config  
22-Sep-2017 04:09:20 %COPY-N-TRAP: The copy operation was completed successfully  
SG350X#
```

これで、CLIを使用してスイッチのアイドルセッションタイムアウト設定が完了しました。